

令和2年度 福岡市立〔 月隈小 〕学校 学校評価実施状況(公表用)

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
【めざす学校像】 ○子どもの権利が大切にされ、児童一人ひとりが大切にされる安全安心な学校 ○教職員が互いに切磋琢磨し指導力を伝承する学校 【めざす児童像】 ○いきいきと学び遊ぶことを通して、確かな学力・豊かな心・健やかな体などの生きる力を身に付け、主体的に行動できる子 ○思いやりや命を大切にできる気持ちをもって行動できる子 ○チャレンジする意欲をもち、希望に向かってねばり強く行動する子 【めざす教師像】 ○向上心を持ち、子どもの学ぶ意欲と学力を高めようとする教員 ○人権感覚にあふれ、あたたかい生徒指導ができる教員 ○子どもの命や身体の安全を確保できる教員		確かな学力の向上 人間関係能力と自己有用感の向上 家庭・地域と連携した信頼ある安全・安心な学校づくり	○一人一台端末を活用しながら、主体的・対話的な学びの具体化 ○「思考力・判断力・表現力」を育成する授業づくり ○TTや習熟度別分割等の授業の推進 ○セル8Sの効果的な活用について学校全体で研究・推進 ○Q-Uやアセスを活用した校内研修の充実 ○個別の支援が必要な児童への意図的・計画的な支援の充実 ○アンケートの毎月の実施と情報の共有化により、いじめの未然防止と早期発見 ○SSWとSC、行政との連携の強化 ○怪我の予防につなげる安全指導の徹底
達成状況についての説明			
確かな学力の向上	○算数科において全学年毎週習熟の時間を設定する。1学期末テストより2学期末テストで80点以上の児童の割合を2割増やす。	○おおむね達成できた。算数科において週に1時間全学年習熟度別の学習を位置づけ、担任以外に5～7人の職員を配置したことが有効であった。	
	○お互いの話を聞き合う態度を育てる。教員アンケート1学期より2学期20%上げる。	○おおむね達成できた。新しい生活様式の中で対話や小グループでの話し合う活動をより行えるような工夫が今後必要である。	
	○県文集、人権作文に積極的な参加をし、書く力の向上につなげる。いずれか全学級が参加する。	○募集がされない作品展も多かった。JA作文のみの参加であったので十分に達成できなかった。	
	0		
児童の人間関係能力と自己有用感の向上	○児童の自己有用感を高めるSEL-8Sを活用した実践を全学級1本行う。自己有用感に関する児童アンケート1学期より2学期5%上げる。	○各学級での実践を行うことができ、おおむね達成できた。新しい生活様式への対応で、各学級の授業公開はできなかったが、テーマ研修で実践をさらに深めていく必要がある。	
	○いじめアンケートの毎月実施といじめに関する職員研修を実施する。アンケートいじめられているととらえている児童12月は7月より減少を目指す。	○おおむね達成できたが、アンケートでの回答には見られなかった案件もあり、児童の状況を把握する方法に課題がある。 ○児童が個人で設定したマイスターの取組について、継続して取り組めた児童は少なかったため、担任からの働きかけを多くしていく必要がある。	
	○月隈マイスター全児童の取組設定、50%の児童が継続して取組むことを目指す。	○教員アンケートの結果は、1学期よりも評価が下がっていたため、十分に達成できなかった。児童会活動等により児童の挨拶への意識を高めていく必要がある。	
	「誰にでも、いつでも、自分から、顔を見て」の挨拶ができていくか振り返る。教員アンケート7月より12月20%アップを目指す。		
家庭・地域と連携した信頼ある安全・安心な学校づくり	○毎週のホームページの更新を行い、学校の取組を地域・保護者に知ってもらう。毎週のホームページ更新90%を目指す。	○学校生活の様子、緊急での連絡内容の掲示を随時行うことができたので、ほぼ達成できた。児童の様子だけでなく、学校での取組も積極的に掲載していく。	
	○体罰によらない指導のために、毎月の体罰根絶宣誓書の唱和と体罰に関する研修年間3回実施で教員アンケート7月より12月20%アップを目指す。	○おおむね達成できたが、児童への困難な指導を行うときに、複数で対応していく体制を学年内でさらにつくっていく。	
	○児童の出欠状況を毎朝確認し、不明児童がいないように家庭への協力を呼びかける。不明児童毎月ゼロを目指す。	○児童支援担当を中心に、連絡不明の児童はほぼなかったため、十分達成できた。長期欠席児童の数を減らしていくことが今後の課題である。	
	0		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
○不登校児童が参加できる行事などがあればいいと思う。 ○挨拶が自分から進んでできる児童が少なく、こちらから声を掛けても頭を下げるが声が出ていない子が多い。 ○新型コロナウイルスの関係で、子ども達自身がストレスを感じているのではないかと心配です。 ○今後も新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいただきたい。 ○コロナ禍の中、今まで経験したことがない状況で、子どもたちにどう接するか大変だったと思います。しかし、その時の状況で子ども達が少しでも前を向けるような教育を心がけておられることを感謝申し上げます。 ○早く学校行事参加ができるようになることを願っています。 ○登校時間帯よりも遅く歩いている児童をあまり見かけなくなった気がします。歩いている児童を見かけたときは、学校に連絡をすると、すぐに該当の児童がわかり安心感がありました。 ○コロナ関係のいじめや差別が増えるのではないかととても心配しています。保護者や地域を含めて正しい知識を受け取って頂けるように努力しなければと思います。			